

授業計画（シラバス）

教育内容	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進				
科目名	薬理学	対象学年	2年 前期		
単位（時間数）	2単位（30時間）	講義時間	28時間	試験時間	2時間
講師名	外来講師	実務経験	薬剤師		
学習目標	1) 薬物の薬理作用及び人体への影響について理解する 2) 疾患や症状に対する薬物の適切な使用と安全な薬物の管理について理解する				

回数	単元・授業内容	授業形態	使用教材
1	薬理学の基礎知識、薬物の使用目的	講義	教科書
2	薬物の投与経路、薬物の体内動態	〃	〃
3	薬物の相互作用 薬効の個人差 漢方	〃	〃
4	薬と法律、新薬の開発	〃	〃
5	薬理作用と効果、投与時の観察 (抗菌薬、抗真菌薬、ウイルス薬)	〃	〃
6	薬理作用と効果、投与時の観察 (免疫抑制剤、抗癌剤)	〃	〃
7	薬理作用と効果、投与時の観察 (副腎皮質ステロイド薬、糖尿病に関連する薬剤)	〃	〃
8	薬理作用と効果、投与時の観察 (筋弛緩薬、全身麻酔、局所麻酔薬、医療用麻薬)	〃	〃
9	薬理作用と効果、投与時の観察 (抗精神病薬、麻薬性鎮痛剤)	〃	〃
10	薬理作用と効果、投与時の観察 (循環器に関連する薬剤)	〃	〃
11	薬理作用と効果、投与時の観察 (救急領域で使用する薬剤、輸液・輸血・血液製剤)	〃	〃
12	薬剤の管理：薬剤の配合による変化（配合禁忌） 薬剤の形状・懸濁法 ・消毒薬作成 エピペン、インスリン注射	〃	〃
13		〃	〃
14		〃	〃
15	終講試験	〃	〃
教科書	薬理学（医学書院）		

授業計画（シラバス）

参考図書	
評価方法	終講試験